

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 8月20日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	プロセス放射線モニター系換気系排気筒入口試料採取ポンプNo. 2において、運転した際にポンプより異音(うなり音)及びインバーターの周波数のハンチング(ポンプの流量、圧力も変動)が認められたため、当該ポンプを点検・修理。 なお、試料採取ポンプNo. 1に切り替えを行い、試料採取ができていることから放出管理上の影響はない。	GⅢ	8月10日
2	1・2号廃棄物処理設備	プロセス放射線モニター系廃棄物処理補機冷却系冷却水放射線モニター(非放射性冷却水)において、指示値不良(不定期にハンチング)が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	8月12日
3	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物固化系計量ホッパー供給装置において、当該装置上部点検口カバーの隙間部より空気の流出が認められたため、原因調査・対策検討。 当該装置に流入する空気配管の弁を閉止したことにより、現在は隙間部からの空気流出は停止している。 なお、当該装置が設置しているエリア(管理区域)の放射能測定を行い、検出限界未満を確認した。	GⅢ	8月10日
4	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物固化系窒素製造装置吸着塔出口側均圧弁において、動作不良(吸着塔の切り替え時に自動で開しなかった)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、本件は当該弁の動作不良の再発生(2024年7月18日審議分として公表後に分解点検実施済み)であることから、対応方法の見直し(構成部品交換に変更)を行う。	GⅢ	8月13日
5	その他	発電所構内の深井戸ポンプ(No. 3)前処理バックアップラインの排水弁において、残水処理時に操作したところ、動作不良(開操作後にハンドルが空回りとなり閉できず)が認められたため、当該弁を交換。 なお、前処理バックアップラインについて、通常は送水に使用していない(バックアップ)ため影響はない。	GⅢ	8月13日